

## 昭和基地 SENSU SuperDARN レーダーのイメージング化と将来展望 Syowa SENSU SuperDARN imaging radar and the future perspective

行松 彰<sup>1\*</sup>, 堤 雅基<sup>1</sup>, 佐藤 夏雄<sup>1</sup>

YUKIMATU, Akira S.<sup>1\*</sup>, TSUTSUMI, Masaki<sup>1</sup>, SATO, Natsuo<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 国立極地研究所

<sup>1</sup> ROIS/NIPR

1995年より、国際ネットワーク観測プロジェクトである SuperDARN の一翼を担ってきた SENSU 昭和基地 HF レーダーの空間分解能を飛躍的に向上させる為のイメージング化の準備を進めている。この進捗状況と、これによって飛躍的発展が期待される、オーロラや電離圏不規則構造近傍の詳細な電離圏電場構造の観測による電磁圏結合物理素過程研究、高精度中性風観測による中間圏下部熱圏研究等の将来展望を議論する。

キーワード: SuperDARN, 昭和基地, イメージング, 中間圏・下部熱圏, 電磁圏結合, オーロラ

Keywords: SuperDARN, Syowa, imaging, MLT region dynamics, MI coupling, aurora